



# うのんのてん報

発行・秋田県天王町役場 TEL (天王) 1. 42. 135  
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL (一日市) 38

町のうごき

本籍数	4,087
本籍人口	14,119
世帯数	2,758
住民登録人口	13,127
内 男女	6,490 6,637

7月1日現在

## 臨時町議会開く

### 児玉助役に同意

#### 一般会計 九百二十二万円追加

第六回町議会(臨時会)が七月二十七日に開かれ、上程された六案件をいずれも原案どおり可決して同日閉会した。今議会に提出された議案は、天王、上二田両駅ホームの延長工事費に対する寄付採納願、九百二十二万四千円の四十二年一般会計補正予算案、町助役選任ほか三件で、助役には児玉孝之助氏を選任することに同意した。

【寄付採納願】天王駅と上二田駅のホーム延長工事費にあてるため、天王本郷会(戸田四郎会長)と二田部落(伊藤武一郎委員長)から申し出のあった四十万円で、助役には児玉孝之助氏を選任することに同意した。

【一般会計補正予算】今回補正された額は九百二十二万四千円。朝と夕の通勤列車を天王と上二田駅に停車させるために、現在のホームをさらに九十四メートルずつ延長する工事費の負担金四百七十万円を始め、天王と上二田間(国道の側)の整備延長(県単道路事業)の負担金百七十六万円。さらに、二田地区大排水路改修事業補助金の百十万円、天王と東湖小の備品購入費が合わせて六十三万円、中分水線道路用地買収費四十三万九千円など大部分が事業費となっている。

#### 発令は八月一日

四十年十二月に畠山善之助氏が辞任して以来、一年七ヶ月にわたって空席となっていた本町の助役に児玉氏が決まり、八月一日付けで発令される。



歴 児玉孝之助(こだまこうのすけ)大正二年三月十日生まれ、五十四歳。旧制秋田中学卒業後県庁にはいり、二十八年二月に農業協同組合課企画指導係長、その後厚生部世話課扶助係長、同福祉課更正係長を勤めて、三十九年四月から県自治研修所の所長補佐。本籍、現住所とも天王字天王二二四。

【町職員退職手当組合規約の一部改正】これは規約の別表第一(組合町村)に「森吉町ほか三ヶ町村病院組合公立米内沢総合病院」を加えるというものである。【簡易郵便局の委託契約申し込み】天王と大崎に簡易郵便局を設けようというもので、仙台郵政局に設置申し込み書を提出し窓口事務の委託契約を締結する

というものである。申し込み書を提出して郵政省の認可を待つことになるが、これが認可されると、天王と大崎の二ヶ所に簡易郵便局が設置され、郵便物の引き受け(国内に発着するもののみ)、切手、印紙などの売りさばきをするほか郵便貯金、郵便為替、郵便為替貯金、簡易生命保険、郵便年金の契約の申し込み受理もここでできる。

【人権擁護委員候補者の推薦】上江川四十七番地藤原寛一氏が任期満了となったので再推せんするもの。

【助役選任】四十年十二月から空席になっていた町助役に児玉孝之助氏(五十四歳)天王を選任することに、満場一致で同意した。

## 出戸浜駅に、行き違い設備、10月までに完成

国鉄は県北部での黒鉱開発の活発化に伴い、船川港への鉱石輸送量が急増しているため、出戸浜から船川までの船川線各駅の輸送設備を抜本的に改良することになり、その手始めとして、出戸浜駅に列車の「行き違い設備」を新設する。

国鉄の設計概要によると、改良されるのは出戸浜、二田、船越、脇本、羽立、船川の各駅で、出戸浜駅には現在の線路の東側に総延長(ポイントからポイントまでの長さ)六百メートル、有効長(列車はいれる長さ)四百六十メートルの線路を新たに敷いて、列車が行き違いできるようにし、そのほかの各駅も有効長を延長するなどして、鉱石輸送の急増に対処するもの。

現在二田駅の有効長は二百九十メートルあるが、これだと

貨車一両の長さ約七・五メートルとして一列車の連結数はせいぜい四十両が限度。そこで有効長を伸ばし、貨車を増結して大型動力車による大量輸送をはかるというものである。

工事は、最初出戸浜駅から着工されるが、必要な土地約二千八百五十平方メートルについては、すでに地元の土地所有者との間で買収の話し合いもつき、また、業者との工事契約も終わっているのでもまもなく始められ、今秋十月のダイヤ改正までには完成する見込みである。

さらに、出戸浜駅には百四十メートルのケタ式ホームが一本増設されるほか、駅舎も多少拡張、完成後は駅員も現在の一名

から四名に増員されて、秋鉄局管内から駅員ただ一名の駅が消えることになる。

出戸浜駅でも十月からは列車が行き違いができることになり、また、他の駅も順次改良されると将来は乗客列車の増発も考えられるが、国鉄では当面は貨物輸送の増強にせまられているため、今秋十月のダイヤ改正では乗客列車の増発は行なわない方針である。

しかし、二田駅と追分駅との間(十・四キロメートル)の出戸浜駅に行き違い設備が設けられることにより、列車が遅れた場合は半減されるため、どちらかの駅で長時間待たされるといふ悩みはかなり解消される。



十月までに列車の行き違い設備ができる出戸浜駅

# 本町の結核予防体制を視察



研修員が関係者の説明を聞く役場

## 東南アジアの研修員

日本の医療体制を实地に研修するため、WHO（世界保健機構）とコロナ計画（国連低開発国援助計画）により日本に派遣されている東南アジア結核研修員一行が七月十五日、本町を訪れた。

一行はインドのスタンレー医大クリシユナスワミ医博ら十五人、インド、インドネシア、韓国、タイ、フィリピン、マレーシアなど八ヶ国から医博、教授が参加、東京都北多摩郡にある結核研究所の島尾所長や木村秋田保健所長も加わって総勢は二十四名。  
本町は毎年結核検診でよい成績をおさめ、とくに昨年は九十二・五パーセントの受診率をあげていることや、地区保健会、健康生活推進委員会を組織して住民自らが保健衛生の改善、向

ます。」ということばには大いに拍手をおくっていた。  
このあと、十一時過ぎからは大崎で行なわれている検診車による一般住民の結核検診状況を視察。研修員はここでも状況をフィルムにおさめたり、受付の細かなところまでも熱心に見つめていた。

### 婦人が積極的

一行は検診状況を視察後再び役場へ帰って、結核予防部会の三浦ツタ部長から活動状況や苦勞話を聞き、続いて質疑を行なった。この中で研修員は①健康な人でも年一回受診するのか。②町全体の受診率と大崎地区の受診率ほどのくらいか。③検診は自発的に受けるのか、それとも啓発するのか。④結核検診というとその名称からして、受診をいやがる人はいないか——などを質問。

これに対して本町の関係者は①健康な人でも毎年受診する。②四十一年度は町全体で九十二・五パーセント、大崎地区では九十八・八パーセントだった。③広報やチラシで日程を知らせ、受診にこない人については連絡員（大崎地区では十人）が家庭を訪問して受診するよう進める。④以前には受診をいやがる傾向もみられたが、最近では早く発見して早く治療すればそれだけ早くおるといふ認識が高まってすすんで受診するようになってきた——と答えた。

## 上野に出かせぎ連絡所

### 一泊二百円で宿泊も

県では東京の上野にこそし新に「季節就労連絡所」をつくり、出かせぎ者に利用させています。  
利用できるのは、秋田県からの出かせぎ者とその家族で、就職、離職などのための宿泊や、休養、会合の場合です。また、宿泊や休憩ばかりでなく、管理人に申し出るといつでも東京事書（物品売買契約書、月賦販売契約書、注文請書）契約金額が一万円未満は非課税、一万円以上二十万円未満は有価証券の受取書受取り金額が一万円未満のものや営業に關しないものは非課税、一万円以上は二十万円。

最後に町長が「本町の研修でとくに感じたことは」と尋ねると、女子研修員は「婦人の方々が積極的にこの運動に参加している姿が印象的でした」と感想をのべた。  
質疑のあと一行は町関係者と昼食をとるとし、和気あいあいのうちに本町の研修を終えて午後二時過ぎ町を離れた。

## 改正された印紙税法

改正後のおもな文書の印紙税額は次のとおり。  
▽合併契 約書 千円  
▽定款 千円▽継続的取引の基本となる契約書 二百円▽預金証書、貯金証書 二十円▽保険証券 二十円▽信用状 二十円▽信託行為に關する契約書 二十円▽債務の保証に關する契約書 二十円▽賃貸借に關する契約書（貸間契約書、住宅使用請書） 二十円▽物品または有価証券の譲渡に關する契

課税されなくなった文書 株式申込証、債権申込証、物品受取書、身元保証書、身元引受書、会社以外の定款、組合契約書、積金通帳、共済証書、労働契約書、もっぱら金銭の受領を委任する委任状で、営業に關しないもの、物品の寄託に關する証書、雇うに關する証書、無尽に關する証書、権利の消滅に關する証書。

## 社会福祉協議会のことしの事業計画

町社会福祉協議会は、さきごろ四十二年度の事業計画を決めたが、それによると、今年度は①児童の健全育成②地域親の会設置促進③相互団体連絡調整の三つを目標にし、これを達成するため次のことを実施することとしている。  
▽子ども会リーダー養成講習会を実施し、地域子ども会の設置促進と活発化を図る。  
▽子どもの遊び場や遊具の設置

## 教育者大会で12氏を表彰

第十一回天王町教育者大会は七月二十五日、男鹿ヘルスセンターで開かれたが、この席上次の十二氏に表彰状が贈られた。  
【本町永年勤続者】▽京極浩（東湖小）五年、▽伊藤ハナ（天王小）十四年、▽桜庭和真（追分小）九年、▽小松田道子（天王小）七年、▽佐藤小枝子（同）七年、▽藤原ゆき子（東湖小）七年、▽保坂孝（同）七年、▽三村正（天王中）七年、▽伊藤和暁（同）七年。  
【特別表彰】▽山村晴麻（東湖小）東湖小は昨年全国健康優良校特選校に選ばれ、また、三年連続秋田県一になっているが、保健主事に就任以来、学校保健の向上に努めたことに対するもの。▽奈良久治郎（出戸小）算数の計算力を中心とした学習の上をはかり、とくにシード学習の研究に努めたことに対するもの。▽中村幸夫（追分小）国語と図工教育の教材、教具の研究を積み、児童の学力向上に努めたことに対するもの。

に対して補助する。  
▽要保護家庭の児童、生徒に対し、教材や行事参加のための補助を行なう。  
▽青少年健全育成世話人活動の活発化を図る。  
▽関係機関を通じ、地域親の会の組織づくりを推進する。  
▽善行青少年を表彰する。  
▽心配ごと相談所の利用をたかめる。  
▽老人クラブの健全化を指導する。  
▽各種募金に協力するとともに、援護施設入所者、長期療養者などの慰問を行なう。  
▽関係団体機関と連絡強調し、有機的にその機能を發揮させる。

### 家庭バレーボール大会

七月の家庭の日の十六日、第八回目の家庭バレーボール大会が天王中体育館で行なわれた。回をかさねるたびに参加チームがふえて、今回は混合十六チーム、主婦十五チームの合わせて三十一チームが参加。応援する人も含めると六百人以上の人が体育館に集まった。

午前九時に開会式が行なわれたあと、さっそく熱戦がくりひろげられたが、各チームとも練習のあとがみられ、接戦また接戦だった。ママさん選手にはダンナさんや子どもが「それ、ガンバレー」の声を、パパさん選手には奥さんが「しっかり」の声を、応援をおくる風景が体育館のあちこちで見られ、家庭の日らしいなごやかなフンイキでいっぱいだった。

当日の成績は次のとおり。

#### 混合

▽優勝 農協A、▽準優勝 農協B、▽三位 下出戸B、▽敢闘賞 二田新町。

#### 主婦

▽優勝 東湖B、▽準優勝 大崎A、▽三位 下出戸、▽敢闘賞 二田若葉会。

#### 牛乗り



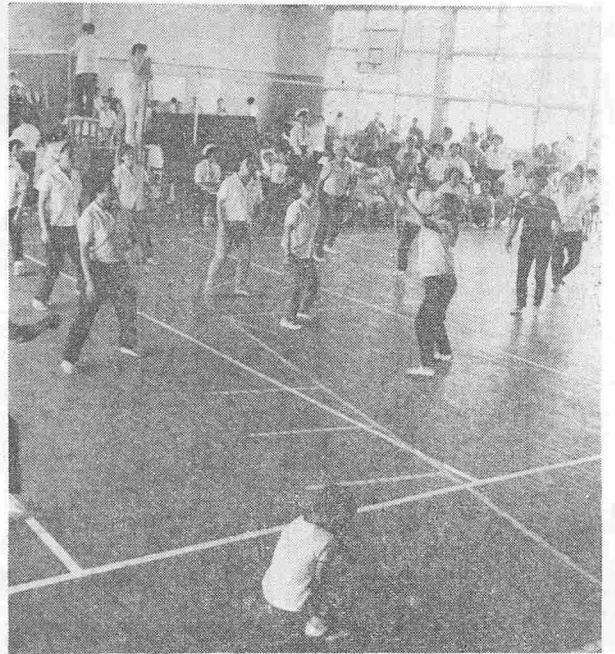
天王と船越の鎮守である東湖八坂神社の祭典が七月六、七日の両日行なわれ、三万人近い人出でにぎわった。

本祭の七日夕刻は奇習「牛乗り」と「クモ舞い」を見ようと沿道は人の波でいっぱい。その中を六時過ぎ、オミキをのんで人事不省になったスサノオノミコトにふん(扮)した男が酒部屋から出てきて大きな黒牛に乗り、両側から人にかかえられて八竜橋へ向かった。

一方船越水道の岸には紅白の木綿で飾られた二本の柱に横木を設け、二本の綱を渡して、その上を髪をふり乱し身に赤い衣をまとい、顔を黒の綱で仮面した男が右往左往する「クモ舞い」が行なわれた。

#### 古式ゆたかな

#### 牛乗り

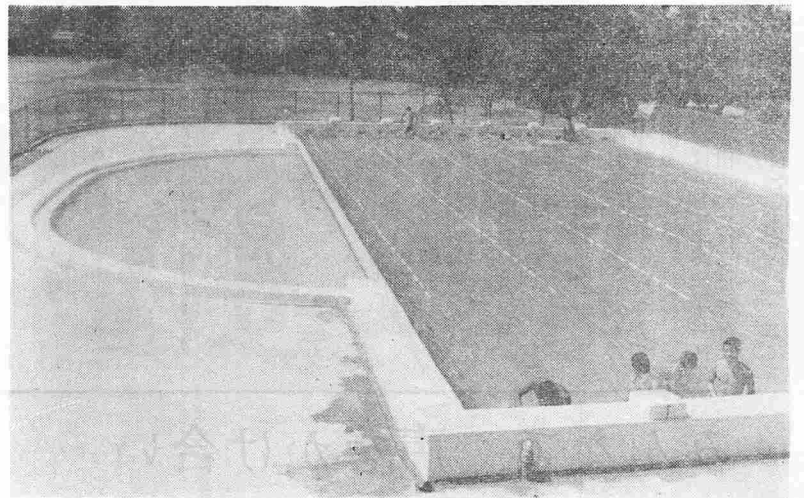


お母さんボクよりバレーが大切なかな

### 子ども会リーダー講習会



完成した学校プール。左側が子ども用の浅いプール



### 学校プール完成

本町初の「学校プール」が天王小運動場内に完成。七月二十二日に天王小で完工式を行なった。

去る五月十三日に工事着工し総工費五百七十一万円をかけてつくれたもので、長辺二十五メートル、短辺十三メートルの六コース。深さは八十七センチメートルある。

子ども会の健全育成と活発な活動をはかるため、町ではこども夏休みが始まった七月二十六、七日の両日一泊二日で子ども会リーダー講習会を開いた。

△フオークダンスをする受講生たち

# 子どもの「浜の家」を建てる

## 出戸の父兄たち

出戸浜海水浴場の地元出戸小PTA(加賀谷一郎会長)は、夏休みを前に七月二十日、子どもたちの海の家づくりを行なった。

同PTAでは、三十四年以来毎年夏になると出戸浜に海の家をつくり、常時何人かの父兄が監視に当たって、子どもたちが事故のない楽しい水泳ができるようにしているが、ことしはいまままでの簡単なつくりから一歩進んだ本格的な休憩所にしようと、子どもたちがひとり百円ずつを持ち寄って資材を購入、それに父兄の持ち寄った木材などと合わせて、五十平方メートルのりっぱな海の家をつくりあげた。

作業は早朝五時から始められたが、阿部校長、加賀谷会長をはじめ、大工さんや勤め前のサラリーマン、あとかたづけを終えた主婦、農作業の合間に駆けつけた人などで手伝い人は総勢五十人を越し、炎天下で子どもたちへのプレゼントに余念がな



父兄の奉仕で建築中の「出戸小浜の家」

水泳ぎするときは「身体の調子を整え、きめられた場所で、きめられた時間泳ぎましよう。

また、監視人の指示には必ず従がきましょう。

## 22 組合を表彰

前年度町税完納

町では、四十一年度の町税について、昨年十二月二十五日までに完納した二十二納税貯蓄組

## 選管だより

選挙人名簿の九月の登録期日が近づいています。新しく天王町に転入してきた人や満二十歳に達した人でまだ登録の申し出をしていない人は「九月一日」までに必ず選挙管理委員会へ申し出をして下さい。天王町に転入した人が登録の申し出をするときは、前住所地の選挙管理委員会が発行した証明書が必要です。

申し出のあった人で有資格者(①満二十歳以上の人、②三ヶ月以上引き続き天王町に居住している人)は九月に名簿に登録されます。

次回の登録の時期は明年三月です。なお、選挙人名簿は通常の場合いつでも閲覧できます。

合を、七月三十一日に開かれた納税貯蓄組合長会議の席上で表彰した。

本町の四十一年度の町税徴収率は、四十一年度現年度分で九十七・四九パーセント、過年度分は五十三・一八パーセントとなっており、全体では前年度より三・五八パーセント高い九十三・一〇パーセント。しかし、全県では最下位すれすれの徴収率で、納税不振の町々という汚名をぬぐいきれずにいる。ことしこそは全納税者が完納して、汚名を返上するように協力願います。

表彰された組合は次のとおり  
塩口一区、同二区、同三区、中羽立、松淵、大崎一区、大崎三区、天王神明町、同上荒町、同旭町、同四区、同西荒町、同下町、同本町、同曲町下区、同曲町上、二田十一区、細谷、追分西一、同二、追分陸会、半坂。

## 統計コンクール の作品募集

第十八回秋田県統計図表コンクールの作品を次の要領で募集してください。たくさん応募してください。

一、主催者 秋田県、秋田県統計協会、秋田県教育委員会  
二、目的 県民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資するために行ないます。

三、応募資格 第一部 小学生、児童、第二部 中学生、生徒、第三部 高校生以上の学生、生徒、第四部 一般。

四、課題 各部とも自由。ただし第一部の作品は、児童が観察した結果を図表化したもの、第二部の作品は既存統計の利用、または生徒が

観察したものを図表化したものとします。

五、材料の規格  
① 第一部、第二部 七十二・八センチ×五十一・五センチ  
② 第三部、第四部 百三センチ×七十二・八センチ  
③ 紙質、色彩(単色にても可)、その他の材料については各部とも自由。

六、送付先 秋田県総務部統計課(秋田市山王四丁目)  
七、締切り日 四十二年九月四日。

八、応募上の注意  
① 作品の裏面に住所、氏名、性別、職業(児童、生徒、学生の場合は学校名、学年)年令を明記すること。  
住所、氏名、学校名には、「ふりがな」を忘れないこと。

## 役場チーム優勝 県大会へ進出



第八回秋田県町村職員野球大会の南秋田郡予選は、七月一日八郎湯町の小、中学校両グランドで行なわれ、本町チームが優勝。県大会へ進出することになった。

準決勝で井川村を8-3、決勝では昨年決勝で1-0で惜敗している琴浜村を4-3で破って三十三、三十四年以来八年ぶ

りに三度目の郡優勝をしたもので、三十五年に県大会ができてからは初めて。

県大会は八月三十、三十一日の両日秋田市の八橋球場で行なわれる。

優勝した役場チーム

と。

② 作品には必ず使用した統計表をつけること。自己の観察によらず他からの資料の場合は、取材資料先を明記すること。

発表 九月中旬ごろ。  
その他、賞状および賞品は第十四回統計大会で授与します。  
不明な点は役場の調査係へおたずねください。

八月の「心配ごと相談日」は七日、十四日、二十一日、二十八日に開かれます。  
悩みごと、心配ごとのある人は役場の町民室でご相談してください。

みんなで、声をかけ合い  
気を配って、非行と事故から  
子どもたちを遠ざけよう。

# 8月 稲作づくりのポイント

## イモチ病の防除

ことしの天候は五月十五〜二十日および、六月五〜十日を除いて好天に経過したので、稲の成育は現在まで三〜五日位進んでいるとみられます。

しかし、一般にことは肥料の多用などで草丈は伸び、分けつも過剰で徒長軟弱な生育であるとみられます。とくに、現在までにイモチ病が発生した地域はこの傾向が強く、稲そのものにイモチ病に対する抵抗力がないものとなっていきます。

天候の条件により一概にはいけません。出穂後にも高温の年ほど枝梗(しこう)、小枝梗、ゴエイなどにイモチ病が発生するので、穂が出たからといって安心するのはひじょうに危険です。

もし曇天、高温の場合は五〜七日間隔で薬剤散布し、イモチ

## 稲の多収穫競争

◇参加申し込み十日まで◇  
稲の多収穫競争は、産業祭の出品種目として昨年から実施されています。

ことしも単位収量の向上をめざし多数参加してください。参加を希望する農家は、八月十日までに役場経済課か農協指導課へ申し込みを。

出品規格 一点三〇アル、地続きで同一品種。

審査 第一次審査 粒数計算、検見 第二次審査 坪刈り。

## 出品物の準備を

ことしの産業祭は千二百点の出品を目標にしています。いまのうちから準備を進めて、たくさん出品してください。

病の終わるまで続けてください。薬剤は非水銀剤を使用しますが、開花中は散布をさけ、つゆのないときは午前九時と午後四時以降に散布をしてください。

## 採種ほの雑品 種抜き取り

相当にいいに行なっても、雑品が混合しているものです。これは微々たるものですが、稲も他の品種の交雑があるものとされています。これを抜き取りなければ優良な品種を確保することはできません。ぜひ行なってください。

抜き取りの要領は、雑品種であるかどうかを判別しやすい時期をつかむことが大切で、その時期は出穂期および糊(こ)熟期です。出穂や糊熟期がとくに早いもの、または遅いものは草丈、葉幅、穂の長さなどは場全体からみてとくに変わったとみられるものを取り除きます。

## ヒエ抜き作業

ヒエはできるだけ早期に抜き取りすることが大切です。ヒエは開花後二週間位で半分前後が発芽能力をもつといわれますので、その事前に抜き取りをしてください。なお、稲の開花中は、根をいためることのないようにしてください。

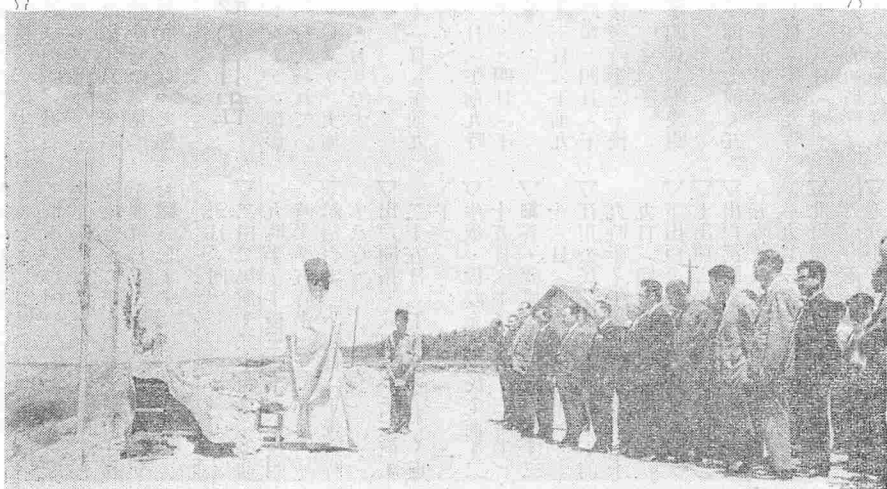
## 晩期追肥

計画的なものは別として、計画のないものはやめるようにします。八月は町民税第二期の納期です。三十一日までに納付はまじょう。納税されるときは納税知書と納税領収書をお忘れなく持参してください。

水管理作業  
開花後の低温は授粉を妨げます。いまのところ深水管理で低温を防ぐ以外にないので、気象通報に注意してください。気温が十七度C以下に下がるときに

# 好天続きで大盛況

— 出戸浜海水浴場 —  
◆ 人出今年の5割増 ◆



出戸浜海水浴場の浜開きは昨年より二日早い七月八日、海上安全祈願祭で幕をあげ、八月末までの約二ヶ月間の海水浴シーズンにはいったが、晴天に恵まれて、例年にない盛況ぶりをみせている。

関係者五十名が出席して行なわれた海上安全祈願祭に日曜日ともなれば五万人を越す日もあって、二万人の収容を誇る海の家も人、人でいっぱい。カッパ天国そのものである。

12日から「県勢展」  
県では県の記念日(八月二十九日)の一環行事として、八月十二日から十六日までの五日間秋田市の県立美術館で「県勢展」を開催する。

ことしは地方自治法が施行されて二十年に当たるので、この間の地方自治の動きを第一テーマとし、本県開発の三つの柱(農業、工業、観光)を第二テーマとして展示することになっている。(時間 午前九時半〜午後五時)

二十年を迎えた地方自治 二十年間のおもな移り変わりを写真パネルで解説するほか、年表、終戦直後の県内の姿、デオラマでは終戦前夜の大空襲をはじめ、八郎潟干拓、三早栽培、稲刈りの完工、児童文化博、秋田国体を再現させる。

## 食中毒を防ごう

これから秋にかけては食中毒が目立って多くなります。これは、私たちがなま魚を食べる食生活上の習慣があるためで、家庭で一番多く発生していますが、最近では学校、事業所などでも多く発生しています。

- ◆ 手洗いの励行
  - 食中毒予防上、手洗いの重要性を認識するとともに、とくに調理前、食事前、用便後の手洗いを励行すること。
- ◆ 食べ物の衛生
  - ① 食べ物はなるべく加熱し、なまものはできるだけさける。
  - ② 食べ物はすみやかに処理し、保存するときはなるべく冷蔵する。
  - ③ 清潔で新鮮なものを、清潔で衛生的な店で求めること。
  - ◆ 台所の衛生

◆ 新しい郷土の建設 ◆ 【農業編】 農業の姿、住みよい農村、稲作近代化、総合開発などをパネルで展示するほか、デオラマでは農業三景(昔、現在、未来)など。大型模型では八郎潟新農村などを展示する。【工業編】 工場誘致、商工業の姿、黒鉱開発、電力事情、中小企業総合指導などをパネルで解説。デオラマでは化鉄、木材両コンビナート構想、大型模型では秋田湾地区新産都市、ほかに、県工業試験場の試作品三十点を展示する。【観光編】 県内観光ルート、東北広域観光ルート、秋田と男鹿の観光、青少年スポーツセンターなど。カラーボックスに観光写真および男鹿水族館の完工予想などを展示する。

